



2025年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔IFRS〕（連結）

2025年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 サントリー食品インターナショナル株式会社
コード番号 2587 URL <https://www.suntory.co.jp/sbf/>
代表者 （役職名）代表取締役社長
問合せ先責任者 （役職名）専務執行役員 経営企画本部長
半期報告書提出予定日 2025年8月8日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

（氏名）小野 真紀子
（氏名）沖中 直人 TEL 03-5579-1837
配当支払開始予定日 2025年9月4日

（百万円未満切捨て）

1. 2025年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年1月1日～2025年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前中間利益		中間利益		親会社の所有者に帰属する中間利益		中間包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期中間期	806,411	△1.3	71,836	△11.2	70,187	△14.0	51,901	△12.4	41,138	△11.5	32,576	△77.9
2024年12月期中間期	817,360	9.1	80,934	17.6	81,572	17.6	59,262	19.8	46,494	21.2	147,536	14.1

	基本的1株当たり 中間利益	希薄化後1株当たり 中間利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期中間期	133.13	—
2024年12月期中間期	150.47	—

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2025年12月期中間期	2,103,704	1,321,322	1,219,251	58.0
2024年12月期	2,058,032	1,315,278	1,209,587	58.8

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 中間期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年12月期中間期	41,973	△40,486	△13,368	145,882
2024年12月期中間期	46,560	△48,028	△25,376	155,128

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	55.00	—	65.00	120.00
2025年12月期	—	60.00			
2025年12月期（予想）			—	60.00	120.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,796,000	5.8	161,000	0.5	160,500	△0.3	117,000	△0.5	90,000	△3.7	291.26

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① I F R Sにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (中間期)

2025年12月期中間期	309,000,000株	2024年12月期	309,000,000株
2025年12月期中間期	306株	2024年12月期	272株
2025年12月期中間期	308,999,708株	2024年12月期中間期	308,999,836株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想に関する記述は、当社及び当社グループが本資料の発表日現在で入手可能な情報から得られた判断に基づいていますが、リスクや不確実性を含んでいるため、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、当社及び当社グループの事業を取り巻く経済情勢、市場動向、為替レート等に関わる様々な要因により、記述されている業績予想とは大幅に異なる可能性があることをご承知おき下さい。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約中間連結財政状態計算書	5
(2) 要約中間連結損益計算書	7
(3) 要約中間連結包括利益計算書	8
(4) 要約中間連結持分変動計算書	9
(5) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書	10
(6) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報)	11

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、真のグローバル飲料企業として持続的な事業成長と企業価値向上を実現すべく“質の高い成長”を目標に掲げています。2024年からスタートした中期経営計画においては、「ブランド戦略」、「構造改革」、「DEI（ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン）」、「サステナビリティ」の4つを重要な戦略テーマに掲げ、積極的に事業を展開しています。

当中間連結会計期間においては、コアブランドを中心とした積極的なマーケティング活動を展開しましたが、アジアパシフィックでのマクロ経済低迷の影響を受け、当社グループ合計で減収減益となりました。

売上収益は、イギリスが牽引した欧州で増収、日本及び米州は前年同期並みとなりましたが、アジアパシフィックで減収となりました。営業利益は、日本における原材料高や主要国におけるマーケティング費用増、アジアパシフィックにおける売上収益の減少等により、欧州を除き減益となりました。

当中間連結会計期間の連結売上収益は8,064億円（前年同期比1.3%減、為替中立0.4%減）、連結営業利益は718億円（前年同期比11.2%減、為替中立10.4%減）、親会社の所有者に帰属する中間利益は411億円（前年同期比11.5%減、為替中立10.7%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

〔日本事業〕

飲料市場（当社推定）は、物価上昇による消費マインドの冷え込みや価格改定の影響等により、前年同期を下回りました。当社販売数量は、飲料市場と同様の影響を受けましたが、継続的なコアブランド集中活動、新商品投入、マーケティング活動強化により、前年同期を下回ったものの想定どおりの着地となりました。

売上収益は、価格改定や商品構成の改善が寄与し、販売数量は減少したものの、前年同期並みの3,442億円（前年同期比0.2%増）となりました。

ブランド別の販売数量については、「サントリー天然水」は、特に大容量で価格改定の影響を受けましたが、引き続き多彩なマーケティング活動を展開し、昨年新しい容器にリニューアルした1Lペットボトルや、「サントリー天然水 特製レモンスカッシュ」が好調に推移しました。加えて、4月に発売した「サントリー天然水 きりっと yog」も販売数量増に寄与しました。「BOSS」は、3月から販売を開始した「世界のTEA」シリーズ、「甘くないイタリアーノ」は好調に推移しましたが、コーヒーカテゴリーでの競争激化の影響を受け、ブランド全体での販売数量は前年同期を下回りました。「伊右衛門」は、競争激化及び特に大容量で価格改定の影響を受け、販売数量は前年同期を下回りましたが、小容量を中心にマーケティング活動が奏功しました。「伊右衛門 濃い味（機能性表示食品）」、「伊右衛門 焙じ茶」、「伊右衛門 京都レモネード」、「伊右衛門 特茶」は、引き続き好調を維持しています。

自動販売機事業については、3月から全国展開を開始した自販機キャッシュレスアプリ「ジハンピ」が想定を上回るダウンロード数を記録しています。「ジハンピ」対応自販機は、6月末時点で16万台となりました。

セグメント利益は、コストマネジメントを徹底しましたが、原材料高やマーケティング費用増の影響を受け、183億円（前年同期比18.2%減）となりました。

[アジアパシフィック事業]

売上収益は、オセアニアの飲料事業が好調に推移したものの、ベトナム及びタイの飲料事業における販売数量減により、1,856億円（前年同期比8.3%減、為替中立6.9%減）となりました。

飲料事業については、ベトナム及びタイでマクロ経済低迷の影響を受け、販売数量が前年同期を下回り、減収となりました。ベトナムでは、競争激化や水カテゴリー以外の飲料市場が縮小した影響を受け、タイでは、例年より低い気温の推移により、主力の炭酸カテゴリー市場が落ち込んだ影響を受けました。オセアニアは、エナジードリンク「V」の販売数量増が寄与し、増収となりました。

健康食品事業については、インバウンド需要減退の影響を受けたものの、主力ブランド「BRAND'S Essence of Chicken」及び「BRAND'S Bird's Nest」が堅調に推移し、売上収益は前年同期並みとなりました。

セグメント利益は、売上収益の減少に伴い221億円（前年同期比20.1%減、為替中立19.4%減）となりました。

[欧州事業]

売上収益は、イギリスが牽引し、1,893億円（前年同期比3.7%増、為替中立4.9%増）となりました。イギリスでは、前年同期に生じた工場稼働率低下の影響の反動に加え、「Lucozade」及び「Ribena」における積極的なマーケティング活動の効果や好天等もあり、想定を上回る増収となりました。フランスでは、砂糖税増税の影響を受け、主力商品の販売数量は前年同期を下回りましたが、売上収益では前年同期並みとなりました。スペインでは、業務用トニック市場鈍化の影響を他ブランドで補いきれず、販売数量が前年同期を下回り、減収となりました。

セグメント利益は、売上収益の増加及びコストマネジメントの徹底により、324億円（前年同期比17.2%増、為替中立18.4%増）となりました。

[米州事業]

売上収益は、堅調に推移した主力の炭酸カテゴリー以外での販売数量が減少したものの、価格改定を含めたRGM（レベニューグロースマネジメント）活動が寄与し、前年同期並みの873億円（前年同期比2.0%減、為替中立0.7%増）となりました。

セグメント利益は、人件費や製造コストが高騰した影響を受け、102億円（前年同期比7.1%減、為替中立4.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比較して、売上債権及びその他の債権の増加、棚卸資産の増加等により、前連結会計年度末に比べ457億円増加して2兆1,037億円となりました。

負債は、前連結会計年度末と比較して、仕入債務及びその他の債務の増加、社債及び借入金の増加等により、前連結会計年度末に比べ396億円増加して7,824億円となりました。

資本合計は、前連結会計年度末と比較して、主要通貨の為替レートが円高になったことに伴うその他の資本の構成要素の減少の一方で、中間利益の稼得により、前連結会計年度末に比べ60億円増加して1兆3,213億円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ146億円減少し、1,459億円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前中間利益702億円、減価償却費及び償却費398億円、仕入債務及びその他の債務の増加306億円等に対し、売上債権及びその他の債権の増加382億円、棚卸資産の増加311億円等により、資金の収入は前年同期と比べ46億円減少し、420億円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産及び無形資産の取得による支出421億円等により、資金の支出は前年同期と比べ75億円減少し、405億円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの増加201億円に対し、配当金の支払額201億円、リース負債の返済による支出69億円等により、資金の支出は前年同期と比べ120億円減少し、134億円の支出となりました。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期の連結業績予想については、2025年2月13日に発表しました連結業績予想から変更ありません。不確実性の高い状況が継続するとの想定のもと、引き続き、全セグメントでのコアブランド集中活動、SCM活動を含めたコストマネジメントの徹底等、やるべきことをやりぬき、業績予想の達成に向けて着実に取り組んでまいります。

2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約中間連結財政状態計算書

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年6月30日)
	百万円	百万円
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	160,493	145,882
売上債権及びその他の債権	341,028	378,636
その他の金融資産	4,558	1,553
棚卸資産	118,412	148,317
その他の流動資産	34,206	37,821
小計	658,699	712,211
売却目的で保有する資産	1,842	966
流動資産合計	660,541	713,178
非流動資産		
有形固定資産	481,950	475,516
使用権資産	61,495	61,280
のれん	285,224	287,025
無形資産	530,886	526,027
持分法で会計処理されている投資	241	359
その他の金融資産	14,534	14,051
繰延税金資産	15,589	18,760
その他の非流動資産	7,566	7,504
非流動資産合計	1,397,490	1,390,525
資産合計	2,058,032	2,103,704

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年6月30日)
	百万円	百万円
負債及び資本		
負債		
流動負債		
社債及び借入金	26,666	47,656
仕入債務及びその他の債務	460,147	481,365
その他の金融負債	26,995	21,427
未払法人所得税等	22,054	17,207
引当金	1,578	944
その他の流動負債	6,733	13,639
流動負債合計	544,176	582,241
非流動負債		
社債及び借入金	550	525
その他の金融負債	55,484	57,210
退職給付に係る負債	15,240	15,840
引当金	7,361	7,035
繰延税金負債	111,666	112,622
その他の非流動負債	8,274	6,905
非流動負債合計	198,578	200,140
負債合計	742,754	782,381
資本		
資本金	168,384	168,384
資本剰余金	185,311	185,333
利益剰余金	716,919	738,397
自己株式	△1	△1
その他の資本の構成要素	138,973	127,137
親会社の所有者に帰属する持分合計	1,209,587	1,219,251
非支配持分	105,690	102,071
資本合計	1,315,278	1,321,322
負債及び資本合計	2,058,032	2,103,704

(2) 要約中間連結損益計算書

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
	百万円	百万円
売上収益	817,360	806,411
売上原価	△505,561	△499,042
売上総利益	311,799	307,369
販売費及び一般管理費	△230,823	△233,309
持分法による投資損益	191	121
その他の収益	2,237	2,017
その他の費用	△2,471	△4,362
営業利益	80,934	71,836
金融収益	2,996	1,381
金融費用	△2,358	△3,030
税引前中間利益	81,572	70,187
法人所得税費用	△22,310	△18,286
中間利益	59,262	51,901
中間利益の帰属		
親会社の所有者	46,494	41,138
非支配持分	12,767	10,762
中間利益	59,262	51,901
1株当たり中間利益 (円)	150.47	133.13

(3) 要約中間連結包括利益計算書

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
	百万円	百万円
中間利益	59,262	51,901
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
金融資産の公正価値の変動	△48	104
確定給付制度の再測定	△130	75
純損益に振り替えられることのない項目合計	△179	180
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	87,436	△18,056
キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の変動	921	△1,444
持分法投資に係る包括利益の変動	94	△4
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	88,452	△19,505
税引後その他の包括利益	88,273	△19,324
中間包括利益	147,536	32,576
中間包括利益の帰属		
親会社の所有者	126,237	29,726
非支配持分	21,298	2,849
中間包括利益	147,536	32,576

(4) 要約中間連結持分変動計算書

前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

親会社の所有者に帰属する持分								
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	合計	非支配持分	資本合計
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年1月1日	168,384	182,229	652,706	△0	84,050	1,087,370	97,656	1,185,027
中間利益			46,494			46,494	12,767	59,262
その他の包括利益					79,743	79,743	8,530	88,273
中間包括利益合計	—	—	46,494	—	79,743	126,237	21,298	147,536
自己株式の取得				△0		△0		△0
配当金			△12,359			△12,359	△5,932	△18,292
非支配持分との取引		290	0			290	△222	68
利益剰余金への振替			6		△6	—		—
所有者との取引額合計	—	290	△12,352	△0	△6	△12,069	△6,155	△18,224
2024年6月30日	168,384	182,520	686,848	△0	163,786	1,201,538	112,799	1,314,338

当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

親会社の所有者に帰属する持分								
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	合計	非支配持分	資本合計
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年1月1日	168,384	185,311	716,919	△1	138,973	1,209,587	105,690	1,315,278
中間利益			41,138			41,138	10,762	51,901
その他の包括利益					△11,411	△11,411	△7,913	△19,324
中間包括利益合計	—	—	41,138	—	△11,411	29,726	2,849	32,576
自己株式の取得				△0		△0		△0
配当金			△20,084			△20,084	△6,441	△26,526
非支配持分との取引		21				21	△26	△5
利益剰余金への振替			423		△423	—		—
所有者との取引額合計	—	21	△19,661	△0	△423	△20,063	△6,468	△26,531
2025年6月30日	168,384	185,333	738,397	△1	127,137	1,219,251	102,071	1,321,322

(5) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
	百万円	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間利益	81,572	70,187
減価償却費及び償却費	37,112	39,840
減損損失及び減損損失戻入(△は益)	81	94
受取利息及び受取配当金	△2,036	△1,369
支払利息	2,247	2,061
持分法による投資損益(△は益)	△191	△121
棚卸資産の増減額(△は増加)	△13,608	△31,064
売上債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△47,641	△38,203
仕入債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	17,163	30,575
その他	△6,081	△7,001
小計	68,617	65,000
利息及び配当金の受取額	2,060	1,630
利息の支払額	△2,203	△2,279
法人所得税の支払額	△21,913	△22,378
営業活動によるキャッシュ・フロー	46,560	41,973
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産及び無形資産の取得による支出	△53,976	△42,121
有形固定資産及び無形資産の売却による収入	1,420	1,653
子会社の売却による収入	4,293	—
その他	234	△18
投資活動によるキャッシュ・フロー	△48,028	△40,486
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	19,437	20,098
長期借入金の返済による支出	△5,880	△39
社債の償還による支出	△15,000	—
リース負債の返済による支出	△5,640	△6,896
配当金の支払額	△12,359	△20,084
非支配持分への配当金の支払額	△5,932	△6,441
その他	△0	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△25,376	△13,368
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△26,844	△11,882
現金及び現金同等物の期首残高 (連結財政状態計算書計上額)	171,755	160,493
売却目的で保有する資産に含まれる	1,301	—
現金及び現金同等物の振戻額	—	—
現金及び現金同等物の期首残高	173,057	160,493
現金及び現金同等物の為替変動による影響	9,119	△2,728
売却目的で保有する資産に含まれる	△203	—
現金及び現金同等物	—	—
現金及び現金同等物の中間期末残高	155,128	145,882

(6) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループの報告セグメントは、当社及び子会社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、ミネラルウォーター、コーヒー飲料、茶系飲料、炭酸飲料、スポーツ飲料、特定保健用食品等の飲料・食品の製造・販売を行っており、国内では当社及び当社の製造・販売子会社が、海外では各地域の現地法人がそれぞれ事業活動を展開しています。したがって、当社グループの報告セグメントはエリア別で構成されており、「日本事業」、「アジアパシフィック事業」、「欧州事業」、「米州事業」の4つを報告セグメントとしています。セグメント間の内部売上収益は第三者間取引価格に基づいています。

当社グループの報告セグメントによる収益及び業績は以下のとおりです。

前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

	報告セグメント				合計	調整額	連結
	日本	アジア パシフィック	欧州	米州			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上収益							
外部顧客への売上収益	343,374	202,337	182,531	89,117	817,360	—	817,360
セグメント間の内部売上収益又は振替高	55	—	793	—	850	△850	—
計	343,430	202,337	183,324	89,117	818,211	△850	817,360
セグメント利益	22,310	27,708	27,663	11,029	88,712	△7,778	80,934

当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

	報告セグメント				合計	調整額	連結
	日本	アジア パシフィック	欧州	米州			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上収益							
外部顧客への売上収益	344,189	185,630	189,261	87,330	806,411	—	806,411
セグメント間の内部売上収益又は振替高	40	—	268	—	309	△309	—
計	344,230	185,630	189,529	87,330	806,720	△309	806,411
セグメント利益	18,252	22,141	32,411	10,247	83,053	△11,217	71,836

セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用等です。セグメント利益は、要約中間連結損益計算書の営業利益と一致しています。